

# 市民向けおよび会員向け特別企画自然観察会の実施報告

星 博幸・田島一成・三宅 明

## 市民向け自然観察会

日時：2014 年 8 月 17 日（日）10:00～12:30

場所：豊田市平戸橋いこいの広場および矢作川河岸

参加人数：10 名（小中学生 5 名，高校生 2 名，一般 3 名）

案内者：三宅 明・星 博幸・田島一成

名古屋地学会は、2013 年に引き続き、2014 年にも市民を対象とした自然観察会を開催した。2013 年は、「矢作川で宝石をみつけよう」というテーマで、岡崎市日名橋において実施している。今回は「見てみよう！川砂の鉱物の世界」というテーマで、豊田市平戸橋いこいの広場と矢作川河岸を会場として、砂を構成する鉱物の実体顕微鏡観察やいくつかの岩石の観察などを実施した。実施では豊田市平戸橋いこいの広場の協力を得た。

川砂は主にいくつかの種類の鉱物から構成され、それらの多くはたいへん美しい。この企画の趣旨は、案内者による補助とアドバイスのもと、市民に川砂という身近な自然の中に秘められた美しさと奥深さを感じてもらい、地学のおもしろさを少しでも知ってもらうことである。今回は広報がうまくいかなかったためか、参加者数がやや少なかった。それでも小学生を含む幅広い年齢層から参加者を集めることができた。観察会の前半は、矢作川河岸の花崗岩類の大露頭で岩石・鉱物の一般的性質や花崗岩に関する観察を行った。後半は、平戸橋いこいの広場の建物内で実習・観察を行った。参加者は実体顕微鏡を用いて「うわー、きれい」「違いは何だろう」などと声をあげながら鉱物を観察していた。他にも、外国産の砂の観察、石英と長石の判別やガラスと石英の判別、磁石を用いた磁鉄鉱の分離なども体験してもらった。

今後もこのような市民対象観察会を開催する場合、広報の準備と方法を再検討する必要がある。新聞の他に地元広報誌への案内掲載、ネットを活用した広報なども検討する必要があるだろう。

## 会員向け特別企画観察会

実施日：2014 年 8 月 17 日（日）14:00～16:00

場所：豊田市平戸橋の矢作川河岸（花崗岩類の大露頭）

参加者：9 名

案内者：三宅 明・星 博幸

午前の市民向け自然観察会に引き続き、午後は本会会員を対象とした特別企画として岩石観察会を開催した。この観察会にも数名の小中学生や高校生、愛教大学生が参加した。花崗岩類を構成する鉱物、アプライト岩脈、節理や断層などを約 2 時間にわたって観察した。猛暑の中であつたが、花崗岩類と断裂系についてかなり突っ込んだ観察と議論ができたと思う。



写真 1. 市民向け自然観察会の様子.



写真 2. 会員向け特別企画観察会（岩石観察会）の様子.